

隠岐沿岸で得られたアオスジガンガゼ(棘皮動物:ウニ綱)

幸塚久典

株式会社海中景観研究所, 〒685-0106 島根県隠岐郡隠岐の島町蛸木 622-1

Records of *Diadema savignyi* (Audouin, 1828) (Echinodermata, Echinoidea) from Oki Islands, Sea of Japan

Hisanori KOHTSUKA

Aqua scape Research Co., Ltd., Takugi 622-1, Okinoshima-cho,
Oki-gun, Shimane Pref., 685-0106 Japan h-kohtsuka@nifty.com

Abstract The Echinoid, *Diadema savignyi* was collected from the coast of Oki Islands, Shimane Prefecture, Japan. This is the first record of the species from Shimane Prefecture.

Key words : Echinodermata, Echinoidea, *Diadema savignyi*, Oki Islands, Sea of Japan

キーワード : 棘皮動物, ウニ綱, アオスジガンガゼ, 隠岐諸島, 日本海

著者は、隠岐沿岸においてガンガゼ属の一種アオスジガンガゼ *Diadema savignyi* (Audouin, 1828) を採集したので報告する。

本種は相模湾以南などの温暖な海域に分布するインド・西太平洋要素のウニ類(重井, 1986)で、同属のガンガゼ *Diadema setosum* (Leske, 1778) とともに日本海での分布の記録は少ない。加藤(1993)は隠岐沿岸のウニ類相の中で、西ノ島で採集された1個体の裸殻個体によりガンガゼと同定されたウニ類を報告している。アオスジガンガゼについては、近年、石川県の能登半島沿岸から記録があるものの(東出, 2001; 幸塚, 2004), 島根県などの山陰沿岸からは正式な記録は無い。これらのウニ類は日本海においても発見例が増えつつあるが、標本の所在や形態が記載されていない報告もある。また、本属ウニ類は酷似しているため、2種が混合されている可能性も否定できない。したがって、標本の所在や形態を記載することは重要である。なお、標本は福井市自然史博物館において棘皮動物登録標本(FMNH)として保管している。

調査標本 : 2004年7月24日, 隠岐郡海士町菱浦湾水深2m, 液浸標本1個体。2004年12月13日, 隠岐郡隠岐の島町蛸木水深3-5m, 液浸標本4個体, 乾燥標本4個体。

日頃から日本海産ウニ類についてご指導いただいている, 加藤琢彦氏および京都工芸繊維大学名誉教授・重井陸夫博士, さらに標本の登録および管理にご協力いただいた福井市自然史博物館・石

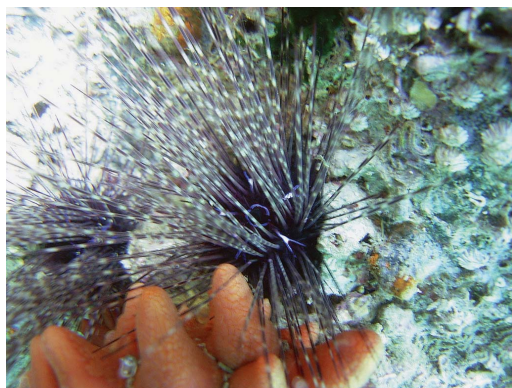


図1 アオスジガンガゼ *Diadema savignyi* の生態写真。2004年7月24日に隠岐郡海士町菱浦湾の水深2mで撮影。

田 惣博士に厚くお礼申し上げます。

文献

- 東出幸真(2002)ウニ, その特徴と種類の見分け方。のと海洋ふれあいセンターだより, 能登の海中林, 17: 2-5。
- 加藤琢彦(1993)隠岐のウニ類。隠岐の文化財, 10: 54-60。
- 幸塚久典(2004)能登半島周辺のウニ類。南紀生物, 46(1): 18-22。
- 重井陸夫(1986)「相模湾産海胆類」英文1-202, 和文1-173, 図版126+8, 宮内庁生物学御研究所編。丸善, 東京。